

いずみニュースレター

グループホーム開設に当たって

理事長 川畑庄二

令和5年度も半年が過ぎ、法人いずみも各事業所が順調な運営をしております。新型コロナウイルスが今年の5月8日から、2類相当が5類に移行しましたが、厚生労働省からの通達に従い、当法人では、これまでとほとんど変わらない感染予防対策をしながら、利用者の皆様が安心して通所できるように努めております。

過日、6月23日に、法人いずみの定時評議員会と理事会を開催いたしました。今年度の定時評議委員会及び理事会では、令和5年度から令和6年度までの理事や監事の選任と、理事長の互選が行われ、引き続き、理事長は私が務めることになりました。理事や監事の皆様と力を合わせ、法人いずみがさらに充実発展できるように、精一杯の努力をしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、当法人の念願でしたグループホームは、この10月1日に開設しました。市内の美住町（商工中金、社協のすぐ近く）に、木造2階建てが完成し、1階は男性、2階は女性、それぞれ7名ずつ入居されています。多くの皆様にご支援とご協力をいただき、グループホームをスタートすることができましたことに、心から感謝申し上げます。

先日9月24日には、東村山市長 渡部 尚様、地主様、元副市長の澤田 泉様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、グループホームお披露目会を盛大に開催することができました。

渡部市長をはじめ、ご出席いただいた多くの方が、グループホームへの大きな期待を寄せてくださっていることに、身の引き締まる思いがしました。皆様のご期待に応えられるように、何としてもよりよいグループホームにシナクテはと強く心に誓いました。

私たち法人いずみに求められているのは、グループホームに入居された方が安心安全で、毎日を快適に豊かに過ごされ、保護者や関係者の皆様から常に信用・信頼される運営を続けることです。法人内の職員一人一人が意識を高くもち、多くの皆様に喜んでいただけるグループホームの運営にしっかりと取り組んでまいります。

関係者の皆様には、これからもグループホームをはじめ、法人いずみへのご理解とご協力、そしてご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

法人いずみでは、グループホームの設立を機に、各事業所がさらによりよい利用者支援を目指し、利用されている方やご家族の皆様、そして地域の方々に信頼される法人・施設であり続けるために、一層の努力をする覚悟です。

障害者グループホーム ファウンテン

ファウンテンは身体障害者を主な対象としたグループホームです。

利用者様からは長年望まれ続けていたGHで、10月1日事業開始となりました。

グループホームの規模はユニット定員7名、1階は男性、2階は女性用として合計14名の利用者がファウンテンで暮らしています。事業所は東村山駅から徒歩6分、東村山市社協の近くにあり、交通量の多い通りから少し先に入った場所にあり、便利が良くとてもいい環境の場所です。

法人いずみとしては初のグループホームです。いずみが目指す、利用者様への生涯支援の輪がより広がり充実できるように日々努力してまいります。

開設までのみちのり

R3.9 第1回説明会開催（利用者保護者向け）

R3.10 東村山市とGH開設に関する現状報告

R3.10 法人内GHプロジェクトチーム発足

R4.2 東京都へGH開設初回相談、補助金申請初回相談

R4.9～ 入居申込書、希望エントリーシート受取

R4.12 地主様と50年定期借地権設定契約

R5.1 利用内定者へ入居内定通知発送

R5.1 18日地鎮祭、19日～着工

R5.1 法人内GH開設準備室発足

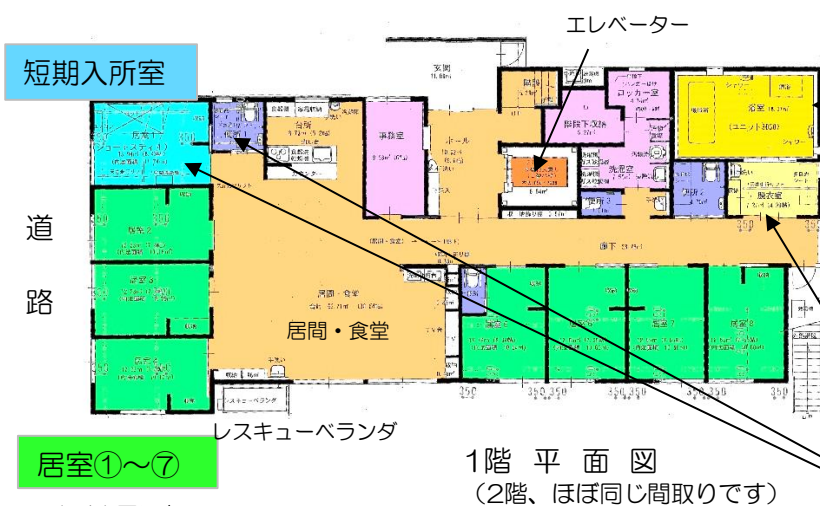
R5.9 建物竣工 引き渡し 各種検査を受ける

R5.9.8 利用者・保護者・職員向け内覧会

R5.9.24 GHお披露目会開催

R5.10.1 開所式開催・事業開始





機械浴槽 1、2階に設置
(イメージ) カタログから



天井走行リフト
(イメージ) カタログから

事業種別・名称

共同生活援助：介護サービス包括型事業所 ファウンテン
 ユニット名 ファウンテン1号館(1階) 定員7名(男性)
 ファウンテン2号館(2階) 定員7名(女性)

短期入所事業所 泉 GH併設型 2名定員

施設概要・主要設備

木造2階建て 延べ床面積 597.17㎡

各居室床面積 12.23㎡～13.94㎡

エレベーター、機械浴槽、床暖房、天井走行リフト
 スプリンクラー、レスキューベランダ他

所在地・連絡先

社会福祉法人いずみ ファウンテン

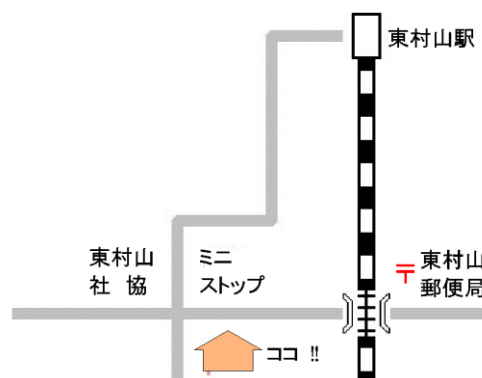
〒189-0023

東京都東村山市美住町 2-9-23

TEL 042-306-3811 (代表)

FAX 042-306-3855

メール misumityou.gh@gmail.com



ファウンテン案内図
 東村山駅西口徒歩6分

ファウンテン開設に際し、ご寄付を頂きました

- ・東村山市あゆみの会様より100万円
- ・匿名様より100万円
- ・貞山明様、清水早苗様から、また、お披露目会の際に10件のご寄付と1件の記念品目録をいただきました。

大変ありがとうございました。

ファウンテンで一緒に働いていただける職員さん、ボランティアさん募集しています。
 お気軽におたずねください。 管理者 梶沼 知徳

グループホームファウンテンの開設に伴う お披露目会を開催いたしました。

令和5年9月24日(日)午後2時15分より東村山社会福祉協議会地域活動室で開催し、その後出席者の皆様にはファウンテンの建物を見学していただきました。来賓の東村山市渡部市長様をはじめ、多くの方々からもお祝いのお言葉をいただきました。

又、10月1日開所に向けて、今後必要な方々との交流の機会にもなりました。



川畑理事長



東村山市 渡部市長



レスキューバランダを設置しました

グループホームファウンテンに東京都共同募金 A 配分を活用させていただいて、避難補助設備設置工事としてレスキューバランダを設置しました。

これは車いすの利用者様が、2階から車いすのまま1階に避難ができる器具です。

停電時でも対応できるように発電機も用意しており、いざというときに備えています。



助成金、配分金をいただきました。

グループホーム ファウンテンへの助成事業が決定しました。助成団体様のお気持ちを大事に大切に活用させていただきます。大変ありがとうございました。

- ・一般社団法人 東京馬主協会様より
車いす移動車(軽自動車) : スズキエブリィワゴン
- ・赤い羽根共同募金様 A 配分より
避難補助設備設置工事 : レスキューバランダの設置

一つ 利用者支援 力の限りの約束

利用児者、その家族に力の限り支援し、家族目線で益々の安定と安心に沿うよう誓います

二つ 法人役職員 一致団結支援の約束

役職員上下の区別なく、心をつ一つにして、利用児者、家族の生活の益々の安寧の為、多くの意見を取り入れながら運営することを誓います

三つ 更なる高みに向けた挑戦の約束

障害者福祉、地域福祉に注力し、行政、関係機関、地域関係者と連携、協調、協働を通して、積極的に貢献することを誓います

社会福祉法人いずみの法人理念は、令和2年度2月1日付で就任した川畑庄二理事長が、当時、福岡憲二前理事長の想いを取り入れ、法人理念として新たに作成したものです。この法人理念を基にした各事業所の取り組みをご紹介します。と思っています。



あゆみの家 成人部

令和3年から法人では、経営理念として三つの誓いを明文化し、職員全体が理念を意識して日々の業務に取り組むようにしてきました。成人部では、三つの誓いは私達が今まで行ってきた支援を見える形に表したものだと考えています。今回はこの三つの誓いを成人部でどのように支援に活かしているのかお伝えします。

① 「利用者支援 力の限りの約束」 の通り、成人部では利用者様と保護者様に寄り添い、安全安心な支援を行えるように努めています。例えば、利用者さんの毎日のご様子をサービス提供記録以外にも個別で記録していますし、ご家庭からの相談にも真摯に対応するよう心掛けています。

② 「一致団結支援の約束」 にあるように、役職に捉われず常に職員で日々の支援内容に問題などがないか相談し、必要と判断すればご家庭にもご提案、ご協力をお願いしております。

③ 「更なる高みに向けた挑戦」 法人では、令和5年10月にグループホームが開業されます。この事業に成人部含め法人全体が一致団結し、利用者様が安心して暮らしていただけるように取り組んでいます。

成人部ではこれからも三つの誓いの通り、利用者様と保護者様に寄り添った事業を続け、地域社会の多様なニーズに応えながら更なる飛躍の年になるよう努めて参ります。 (担当 地域等連携マネージャー 増田)



ひまわり（児童発達支援）

私達職員は日々、子ども達の健康管理や心身発達支援に取り組んでいますが、ご家族支援にも力を入れる様、心がけております。

子ども達の幸せを願う時、そこにはご家族の幸せが必須となります。細かなケアや配慮が必要なお子さん達の日々の生活を支え、成長を見守るご家族の方達の力に少しでもなれないかと考えております。

ご家族の要望等に常に耳を傾け、要望を受け「どうすればできるか」と言う発想を基に、職員間で話し合いを重ねています。

また、「臨機応変」を大切にして、個々のご家族の事情等に合わせた対応もできるだけしたいと考えております。

また、多くの子ども達にとって初めて集団生活を送る場でもある「ひまわり」で、より多くの人と関わりを持ち、子どもの世界を広げられる様、他事業所交流や公共施設利用、地域参加等にも力を入れたいと考えています。私達職員は、子ども達に癒され、元気や幸せをもらっている日々です。子どもの幸せ、成長の促進のサポート、そしてご家族の幸せの力になれる様、これからも職員一同、真摯に支援に向き合い取り組んで参りたい所存です。

（担当 西島）





ライフサポートつばさ

『3つの誓い（=法人の理念）』に照らして、私たちつばさの現場はどうでしょうか？職員皆でふり返ってみました。

①（力の限り）

- ・できる限り利用者の希望に合う活動ができるようにがんばっているし、そのことを自らも楽しんでいる。利用者には力の限り楽しんでもらいたい。
- ・家庭との意思疎通を常に意識している。つばさの中では、自分が家族になったような感覚も覚える。ご家族がいない方もあるし、それに近い存在でありたい。

②（一致団結）

- ・つばさの特色は、アットホームさだと思っている。利用者とも職員間でも、お互いに話しやすく楽しい空気を大事にしてきた。
- ・利用者の自己選択や納得を重んじるのがつばさの風土。一致団結のためにも、職員は一方的にならないことが必要だと思って、共に泣き笑いしている。

③（高みに向けた挑戦）

- ・職員間で研修をして、一つの問題に対して意見を出し合って、新しい事に挑戦していけること。
- ・行政などとの連携において、『つばささんに、つばささんだからお願いしたい』と言われるようなとき、信頼関係や責任を実感する。
- ・近隣の小学校や高校との交流を通して、地域の皆さんとの相互理解を目指していく。

これからも私たちは、折々で3つの誓いに立ち戻り、また一層の体現を目指していきます。GHファウンテンの皆さん、この度はおめでとうございます。これから、一緒に頑張っていきましょう！

（担当 地域連携マネージャー 山下）





あゆみの家 幼児部

三つの誓いで、現場で支援する私たちが自然と力が入るのは、ひとつめの「利用者支援 力の限りの約束」だと思います。

～利用児者、その家族を力の限り支援し、家族目線で益々の安定と安心に沿うよう誓います～

『子どもと保護者から、あゆみ大好きと思ってもらえる場所』であることを、幼児部では常に目指してきました。まずは「楽しい」、「あゆみ大好き」「あゆみ行きたい」と思ってもらえること。ご家族が安心して送り出してくれること。子どもたちの笑顔、日々の連絡帳、毎年の年度末のアンケート、様々な形でたくさんの「いいね」をいただいております、それこそが、安定と安心に沿っている結果だと思っています。

昨年度末のアンケートでは、“無理なく子どものペースにあわせ、寄り添ってくれる”、“子どもだけでなく父母へのケアもしてくれ、安心して預けられる”、“なにより子どもたちが笑顔いっぱい”“子育てをサポートしてもらえて心強かったです”等の、嬉しい記入をいただきました。この経験を糧に、私たちは法人の更なる高みの挑戦にむけて、前に進めるように努力していきます。

(担当 あゆみの家幼児部 管理者 田中)



ひまわり(放課後等デイサービス)

ひまわり放課後等デイサービスは NPO あゆみが運営して活動していた時から約 20 年の歴史がある事業所です。令和 3 年 4 月に管理者の異動、事業運営の中心になる常勤(8 時間勤務)職員の異動があり、新しい運営体制になり今年 3 年目になりました。覚える事、慣れる事が多い 1～2 年目と違い、3 年目は利用児、保護者、事業所運営などを職員がより深く理解し「今自分たちができる事は何か」を考えて実践していける年です。法人理念である『利用者支援 力の限りの約束』を合言葉に、出来る事から変革しつつ、昨年度までコロナ禍で縮小していた行事や外出活動も大いに盛り上げていけたらと考えています。まずはこの夏、送迎サービスの拡充として医療的ケア児や送迎範囲外だった方の自宅送迎にも取り組みました。活動もプラネタリウム見学やアイスクリーム食べに行くお出かけ行事、兄弟児も含めたプールでの水遊びなど、コロナ禍では自粛していた内容の行事も行い大いに盛り上がりました。今後も様々な行事活動を取り入れていけたらと思います。

(担当 ひまわり 管理者 小山)





相談支援事業所 トビラ

支援を必要としている人たちが、この地域で安心して日常生活や社会生活を送り続けるために、その意思や希望を尊重し、質の高い適切なサービスを受けられるよう相談支援を続けていきたいと願っています。しかし現実的に利用者様が十分に満足を得られるほどの支援を受けることが出来ているかという疑問が残るところでもあります。法人内の通園・通所事業所・放課後等デイサービス事業所・ヘルパー事業所等の法人理念の一致に基づく協働と、市障害支援課、子供家庭支援センター、基幹相談支援センター、他、近隣市含めた訪問看護事業所やヘルパー事業所等とのより機能的なネットワーク関係を構築していくこと、加えて権利擁護理念に基づいた利用者様支援の徹底を具体化して行くことが、更なる高みを目指すためのトビラとしての役割と認識しています。

(担当 相談支援事業所トビラ 管理者 村山)



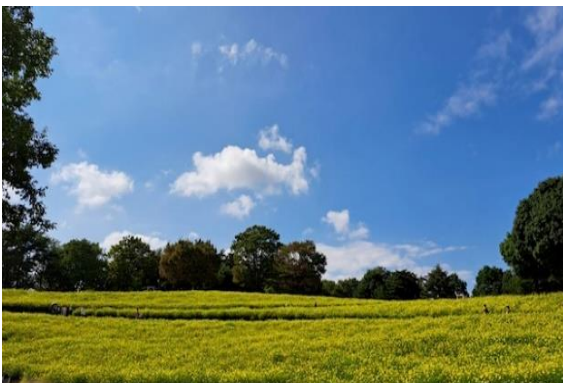
ホームヘルプひだまり

私達、ホームヘルプひだまりは9月に開催された『利用者の声を聞く会』などを通して、ご利用者の気持ちを知り、ご利用者とご家族に寄り添った支援を行い、『利用者支援・力の限りの約束』をします。

そして、10月に『ファウンテン』が始動するに伴い、順調に運営出来るよう協力を行い、『法人役職員・一致団結支援の約束』をします。

最後に、法人内で月1回実施されている中堅職員研修学習会を通して、皆で学びあい、更に良い支援に繋げて、『更なる高みに向けた挑戦の約束』をします。

(担当 地域連携マネージャー 北本)



各事業所の活動風景



あゆみの家成人部 重心交流会



ひまわり（児童発達支援） 朝の会



ひまわり（放課後等デイサービス） 音楽活動



ライフサポートつばさ 運動レクリエーション



あゆみの家幼児部 上手にバランスとれるかな？



ホームヘルプひだまり 腕相撲

職員ひとこと

テーマ『私が大切にしていること』



所属 あゆみの家 成人部
名前 照井真理恵 経験年数 2年目

こんにちは。成人部の看護師の照井です。成人部に異動してもうすぐ1年です。

重症心身障害児・者の看護にとってもやりがいを感じ、以前から関わらせていただいています。

これからも、利用者・家族の皆様が毎日安心して、元気に楽しく通所できるような支援を提供できるように努力していきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



所属 ひまわり（児童発達支援）
名前 縄田若菜 経験年数 1年目

私が大切にしていることは、ゆとりを持つことです。時間や気持ちなどにゆとりがあると、ミスが防げたり、気づきを放置せずに確認・実行できたりするので、焦るような場面でもできるだけゆとりを持つようにしています。

療育は初めてですが、日々子どもたちに癒されながら、一緒に楽しんでいます。これからもよろしくお願いします。



所属 あゆみの家 幼児部
名前 北野亜紀 経験年数 10年目

私は、子どもたちが大好きです。いつも子どもたちにとって心も身体も身近で、安心できる場所でいたいと思っています。

運動遊びや製作、日々の療育で子ども達が楽しそうにキラキラした瞳を向けてくれると、その気持ちに、もっと！と答えたくくなります。うれしくて笑顔の時は一緒に喜んで、辛くて悲しい時は大丈夫だよ、と心も身体もギュッと受けとめてあげたい。

そして、あゆみの子ども達が、毎日たくさんの愛情を感じながら、笑顔で心豊かにすごせる幼児部だといいなと思っています。



所属 ホームヘルプひだまり
名前 松本こずえ 経験年数 8年目



所属 ライフサポートつばさ
名前 塩田貴美子 経験年数 2年目

私が大切にしていること。

聞くよりも「聴く」。一生懸命よりも「一所懸命」です。子どもの時、学校の先生が、「聴く」は耳だけでなく、十の目と心を使って聞くこと。「一所懸命」は、一つの所（こと）を懸命に取り組むこと。と教えてくれました。素敵！！と思い、それ以来、話を聞く時は、相手の目を見て、その人の立場になって聴く。何事もその時やらなければならないことに対しては、とにかく一所懸命に取り組むようにしています。

皆さんにとって「つばさ」は、どのような場所ですか？私は「会話が多く楽しくて、元気に明るく過ごせる場所」でありたいと思っています。皆さんも同じ気持ち（思い）でいてくれたら、とても嬉しいです。入職した時に「いろいろ教えてくれた人」「優しく声をかけてくれた人」その一言にいつも助けられ、安心することが出来ました。早く私も「つばさ」の仲間（一員）になりたいと感じた事を今でも覚えています。だからでしょうか私が今一番大切にしている事はコミュニケーションの力です。皆さんの考えや思いを聞かせて頂けるような職員（仲間）となり、言葉にできない思いにも気付けるような人間に成長していきたいと思っています。まだまだ本人口下手で未熟ですから、皆様からの声掛けお待ちしております。

ご寄付をいただきました

- ・関 由喜子様、その他ファウンテンに対して 14 件 合計 2,628,000 円
- ・ファウンテンに記念品
- ・幼児部、ひまわりに匿名様より、クッション・ぬいぐるみ等 60 個

ありがとうございました。

編集後記

10月にグループホーム『ファウンテン』がオープンしました。入所された皆様が日々を笑顔で暮らしていけるよう、法人一同、力を合わせて参ります。そして、『ファウンテン』に関わる多くの人達の新しい生活と新しく始まる歴史が共に育みあい、いつか『ファウンテン』が人と人を繋ぎ、地域と生きる礎になって欲しいと思います。

北本

発行元 社会福祉法人いずみ
東京都東村山市富士見町3-3-4
TEL 042-394-1868

※記事内の写真についてはご本人、ご家族のご了承を得たうえで掲載しております。